

総合調整会議の概略（2010.5.19）

日 時：平成22年5月19日（水）10：00～11：00

場 所：栗東市役所4階傍聴者控室

出席者：市長、副市長、教育長、部長等

<資料1> 草津川廃川敷地跡地利用検討会議の設置について(案)

1. 市長の指示事項

[市長]

・今月は総会月ということであるが、特に事業促進のための協議会等とは十分に連携を図って、事業の進捗が一層図れるよう取り組んでもらいたい。また、6月10日から始まる議会についてももしっかり対応願いたい。

2. 審議事項

草津川廃川敷地跡地利用検討会議の設置について

政策秘書課長から資料により説明

・5月11日の滋賀県、草津市、栗東市の3者の調整会議を受けて、草津川廃川敷地の恒久的な跡地利用計画を策定するあたり、本市としての跡地利用の基本的な方針を協議するため検討会議を設置する。草津市のスケジュールに合わせ、7月末をめどに一定の方向性を出したい。

[道路河川課長（建設部長代理）]

・会議の委員の構成で、道路河川課と国県事業担当は並列なのか。

[政策秘書課長]

・並列で考えている。道路を作っていくということであると道路河川課にも委員に入ってもらいたい方がよいと考えている。

[総務部理事]

・跡地利用を検討する上では、新幹線の橋脚部分が狭く県道の振り方や周辺の市道路計画にも関連してくる。また、公園としての利用についても考えられ、都市計画課にも入ってもらいたいことも想定されるが、草津市では道路整備計画が考えられていることから、スタートとしては、道路を中心に検討していくということで道路河川課にも委員に入ってもらいたい。

[副市長]

・草津川跡地利用については、旧川から新川に切り替わるときからの話があって、当時地元の要望などこれまでの歴史があることから、道路ありきで進めるのではなく、地元との過去の経過をしっかりと押さえる必要がある。

[総務部理事]

・過去の経過の整理についても、会議の場で押さえていくように考えている。

[市長]

- ・有償で払い下げるのは廃川敷全部なのか。道路だけではなかったか。

[政策秘書課長]

- ・県は、県で使用する以外は全部という意向で、利用目的に応じて市や民間などそれぞれの払い下げ先に有償で譲渡する考えのようである。

[副市長]

- ・新幹線より上流（防災ステーション）も有償なのか。

[新駅問題対策課長（総務部理事（新駅問題担当）代理）]

- ・手原駅新屋敷線の市有地と県道との交換のための用地として、今のところ存置している。
- ・県には既存の県道の整備について、要望している。

[総務部理事]

- ・これまでの経緯をしっかりと整理をした上で進めさせてもらい、協議内容によっては都市計画課などにも会議に入ってもらおうこととする。

区分：決定

3. 報告事項

平成23年度国・県要望について 政策秘書課長から説明

国への要望のルートがこれまでと変わっている。今回取りまとめる要望の要望先は県となる。

区分：了解

国勢調査の取組状況について 政策秘書課長から説明

[副市長]

- ・調査員の公募は行っているのか。

[政策秘書課長]

- ・登録調査員については、公募により67名お願いしている。残りの調査員については、地元の推薦により対応する。

区分：了解

各部からの報告について

- ・6月議会提出案件について 総務部長より説明

区分：了解

- ・国保の節目歯科健診の一部負担金の徴収について 健康福祉部長より説明
歯科医師会との協議の結果、健診費用の一部負担について了解が得られた。

区分：了解

4. その他

[市長]

- ・議会運営委員会に関連して、各会派との調整会を行うので出席をお願いしたい。
- ・これから税の通知などがあるが、適切な事務処理の徹底をお願いしたい。

[副市長]

・市がどういう方向に向かっているのか、何を考えているのかということが、伝わってこないという職員の声を聞くので、部長や課長からも職員へのコミュニケーションをとってもらうとともに、部・課間の横の連携についても宜しくをお願いしたい。

以上